

2021年度建築コスト管理士試験問題

章 目	第3章 建築生産プロセスとコスト管理	項 目	3.1 建築コスト管理の業務体系	細 目	3.1.1 プロジェクトの各段階におけるコスト管理 業務の役割	正 答 肢	2
<p>問題 1</p> <p>プロジェクトにおける各段階の主たるコスト管理業務の役割について、次の記述のうち、<u>最も不適切なもの</u>を1つ選び、その番号を答えなさい</p>						<p>【出典】</p> <p>新☆建築コスト管理士ガイドブック</p> <p>1 P44 : 15～16 行目</p> <p>2 P133 : 14～17 行目</p> <p>3 P43 : 10～22 行目</p> <p>4 P42 : 1～42 行目</p>	
<p>【解答肢】</p> <p>1 維持・保全段階におけるコスト管理業務には、施設を維持運営する費用の算定と運用コストデータの収集、分析などが含まれ、それらのコストデータを施設の運用および経営面へ積極的に活用することが必要となる。</p> <p>2 建築のコスト管理業務において、LCC（ライフサイクルコスト）が大きく関わってくるのは、発注調達段階である。</p> <p>3 発注者側の施工段階でのコスト管理には、工事の出来高や設計変更に関する工事費支払い審査や確認作業および、工事の完了時に工事費の最終清算額の調査・点検業務、支払確認業務などもある。</p> <p>4 発注調達段階におけるコスト管理業務には、発注戦略の策定支援、施工者の選定支援、契約条件の策定支援などがあるが、請負代金の確認も重要な業務である。</p>						<p>【解説】</p> <p>2. が最も不適切</p> <p>LCC（ライフサイクルコスト）が大きく関わってくるのは、<u>建築設計段階</u>である。</p>	

2021年度建築コスト管理士学科試験問題

章目	第3章 建築生産プロセスとコスト管理	項目	3.4 発注方式	細目	3.4.1 設計者と施工者の選定方式	正答肢	3
<p>問題 2</p> <p>総合評価落札方式に関する次の記述のうち、<u>最も不適切なもの</u>を1つ選び、その番号を答えなさい。</p>						<p>【出典】 新☆建築管理士ガイドブック</p> <p>1 P154 26行目 2 P154 35行目 3 P155 16行目 4 P156 6行目</p>	
<p>【解答肢】</p> <p>1 総合評価落札方式は、入札者が示す価格と技術提案の内容を総合的に評価し、受注者を決定する落札方式である。</p> <p>2 総合評価落札方式では、発注者がプロジェクトの特性を考慮した上で、評価する項目を決定する。</p> <p>3 総合評価落札方式は、発注者の選定作業に費やす労力と時間を削減することができる。</p> <p>4 公共工事の総合評価落札方式では、工事の規模、難易度により大きく施工能力評価型と技術提案評価型がある。</p>						<p>【解説】</p> <p>3. が最も不適切</p> <p>選定作業に<u>多くの労力と時間が必要</u>になる</p>	

2021年度建築コスト管理士試験問題

章目	第3章 建築生産プロセスとコスト管理	項目	3.2 設計計画段階の業務	細目	3.2.5 コストデータの分析と活用	正答肢	2
<p>問題 3</p> <p>コスト管理に有効なコストデータの整備に関する次の記述のうち、<u>最も不適切なものを</u>その番号を答えなさい。</p>						<p>【出典】</p> <p>新☆建築コスト管理士ガイドブック</p> <p>1 P109 27～30 行目</p> <p>2 P109 38～40 行目</p> <p>3 P110 38～40 行目</p> <p>4 P111 4～6 行目</p>	
<p>【解答肢】</p> <p>1 工事費内訳書のコスト情報は、工種別の分類によるコストデータであり、発注者や設計者が設計進行過程で必要となるコスト計画目的に使いやすいコストデータとはなっていない。</p> <p>2 部分別標準書式を建築工事費だけでみると、大科目として大きく6分類（①直接仮設②土工・地業 ③躯体 ④外部仕上⑤内部仕上⑥外構）を設けている。</p> <p>3 工種別と部分別の両書式における各レベルのコストデータの変換、検索、集積などを効率的にデータ分析を行うには、データの分類や体系化が不可欠となる。</p> <p>4 欧米においては、設計計画の進捗段階において建物の部分別コストデータを把握し活用するコスト管理システムが定着している。</p>						<p>【解説】</p> <p>2. が最も不適切</p> <p>建築工事費種目としては5分類で外構は含まない。</p>	

2021年度建築コスト管理士試験問題

章目	第3章 建築生産プロセスとコスト管理	項目	3.5 施工段階の業務	細目	3.5.1 発注者側におけるコスト管理	正答肢	1															
<p>問題 4</p> <p>発注者側におけるコスト管理に関する次の記述のうち、<u>最も適切な組合せ</u>を1つ選び、その番号を答えなさい。</p> <p>a. 発注者側におけるコスト管理は、事業予算にもとづいて支出を管理することである。</p> <p>b. 最終の工事金額が工事予算をオーバーしないよう、また、別途発注分の費用を含めた事業費全体にも目配りする必要がある。</p> <p>c. 想定外の支出が懸念される場合は、予備費を計上し工事進捗に応じて不確定要素が具現化するとともに、支出項目を確定していくような管理も必要となる。</p> <p>d. 定期的に、想定される変更・追加項目を整理のうえ、これに対する概略金額を算定し工事費総額の予測値を発注者に報告する。</p>						<p>【出典】</p> <p>新☆建築管理士ガイドブック</p> <p>a. P187 14行目</p> <p>b. P187 41行目～42行目</p> <p>c. P187 36行目～37行目</p> <p>d. P187 32行目～33行目</p>																
<p>【解答肢】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">番号</th> <th colspan="2">組合せ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>全て</td> <td>適切</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>aとbとcが</td> <td>適切</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>bとdが</td> <td>適切</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>aとdが</td> <td>適切</td> </tr> </tbody> </table>						番号	組合せ		1	全て	適切	2	aとbとcが	適切	3	bとdが	適切	4	aとdが	適切	<p>【解説】</p> <p>1. が最も適切</p> <p>問題のa, b, c, dは全て適切</p>	
番号	組合せ																					
1	全て	適切																				
2	aとbとcが	適切																				
3	bとdが	適切																				
4	aとdが	適切																				

2021年度建築コスト管理士試験問題

章目	第7章 建築数量積算基準	項目	7.3 基準で決めていること	細目	7.3.1 総則の定義	正答肢	4
----	---------------------	----	----------------	----	-------------	-----	----------

問題 5

建築数量積算基準で決めていることに関する次の記述のうち、
最も適切なものを1つ選び、その番号を答えなさい。

【解答肢】

- 1 積算基準の数量算出方法は細かく積み上げて数量を算出する方法のみが対象とされている。
- 2 施工数量とは設計図書に表示されていない施工計画に基づいて算出する数量であり、仮設、土工事などが該当する。
- 3 内訳書の細目数量は小数点以下第1位とし、10以上は整数とする。
- 4 設計寸法には設計図書に表示されている寸法から求めることができる寸法と設計図書から計測機具により読み取ることができる寸法の2種類がある。

【出典】

建築積算士ガイドブック

- 1 P208. 21～26行目
- 2 P207. 23～25行目
- 3 P208. 11行目
- 4 P207. 30～33行目

【解説】

4. が最も適切

1. は必要に応じて略算法と統計値による手法が認められている。
2. は計画数量に関する記述。
3. は100以上を整数とする。

2021年度建築コスト管理士試験問題

章目	第4章 コスト管理の知識理論 ・技術手法	項目	4.7 法規とコスト	細目	(7) 建設コストとその他の法規制 4) 法改定時の対応	正答肢	2
----	----------------------------	----	------------	----	---------------------------------	-----	---

問題 6

品確法（公共工事の品質確保の促進に関する法律）の改正に関する次の記述うち、最も不適切なものを1つ選び、その番号を答えなさい。

【出典】

建築コスト管理士ガイドブック

- 1 P338 37行目～39行目
- 2 P339 表4.7-5 9～10行目
- 3 P338 36行目～P339 23行目
- 4 P339 表4.7-5 7～8行目

【解答肢】

- 1 建設工事の適正な施工及び品質の確保と、その担い手の確保のための具体的な施策は建設費用にも大きく影響してくるため、コスト管理においても注意を要する。
- 2 発注者の責務として、計画的な発注、円滑な設計変更を求めるとともに、予定価格の設定、低入札価格調査基準などについては、発注者判断による裁量範囲を拡大した。
- 3 品確法・建設業法・入契法について担い手三法と呼ばれ、これらを一体として改正されることで公共工事の品質確保を具体的措置として規定された。
- 4 将来にわたる公共工事の品質確保とその中長期的な担い手の確保とともに、ダンピング防止も基本理念として追加された。

【解説】

2. が最も不適切。

発注者判断による裁量範囲を拡大したのではなく、

発注者の責務として適切な設定を求めた。

2021年度建築コスト管理士試験問題

章目	第4章 コスト管理の知識理論 ・技術手法	項目	4.12 PFIとコスト管理	細目	(1) PFIとは ～(5)-2 LCC算定	正答肢	2
----	----------------------------	----	----------------	----	---------------------------	-----	---

問題 7

PFIに関する用語・略号とその内容として下表a～fのうち、不適切なものはいくつあるか、1つ選び、その番号を答えなさい。

記号	用語・略号	内容
a	PPP	官民連携事業
b	PSC	特定目的会社
c	VFM	支払に見合う価値
d	BOT方式	選定事業者が建設、公共部門に所有権移転後に運営する方式
e	コンセッション方式	公共が所有したまま運営権のみを民間に付与する方式
f	PFI事業のLCC	選定事業者の運営全体に関わる経費（通常、解体を含まず）

【解答肢】

番号	数
1	三つが不適切
2	二つが不適切
3	一つが不適切
4	不適切なし（すべて適切）

【出典】

新☆建築コスト管理士ガイドブック

- a P393 7行目
- b P397 4行目
- c P396 36行目
- d P398 33行目
- e P395 14行目
- f P401 3行目

【解説】

2. bとdの二つが不適切

b. PSCとは「公共が自ら実施する場合の事業期間全体を通じた公的財政負担の見込額の現在価値」。

なお、特定目的会社は「SPC」である。

d. BOT方式とは「選定事業者は、施設などを設計・建設し、これを所有したまま維持管理・運営し、公共サービスの提供を行う。」

2021年度建築コスト管理士試験問題

章目	第4章 コスト管理の知識理論 ・技術手法	項目	4.3 工程計画とコスト	細目	4.3. (2) 工程計画の文書化—工程表 4.3. (3) 工程計画の基本条件 4.3. (4) 所要期間計算の基本 4.3. (5) 所要期間計算の実際	正答肢	2
<p>問題 8</p> <p>工程計画に関する次の記述のうち、<u>最も不適切なものを1 つ選び、その番号を答えなさい。</u></p> <p>【解答肢】</p> <p>1 建築工事に通常用いられるネットワーク工程表は、一般的にプロジェクト工程のなかで最も時間を要する一連の作業パッケージ（クリティカルパス）を中心に工程計算を行い、工程表として表現されている。</p> <p>2 バーチャートは縦軸に作業パッケージ、横軸に日程をとり、作業パッケージ毎の横棒により施工期間を表現する。専門家以外の素人にも理解しやすく、工程の調整に適している。</p> <p>3 準備工事とは実質的な工事に着手する前に行う、準備的な作業をいう。概ね1か月から2か月の期間が必要である。</p> <p>4 一般的なRC造の上部躯体工事のクリティカルパスは型枠工事であり、型枠大工の投入人数により工期が決定される。</p>					<p>【出典】</p> <p>新☆建築コスト管理士ガイドブック</p> <p>1 P269 11～13行目</p> <p>2 P267 41～ P268 1行目</p> <p>3 P270 37～38行目</p> <p>4 P273 2～3行目</p> <p>【解説】</p> <p>2. が最も不適切</p> <p>バーチャートは専門家以外の素人にも理解しやすい反面、<u>作業間の関連が分かりにくく、工程の調整には適さない。</u></p>		

2021年度建築コスト管理士試験問題

章 目	第3章 建築生産プロセスとコスト 管理	項 目	3.6 建物維持管理段階の業務	3.6.4 集合住宅の維持保全とコスト管理	正答肢	3
--------	---------------------------	--------	-----------------	-----------------------	-----	----------

問題 9

集合住宅（分譲マンション）の維持保全とコスト管理に関する次の記述のうち、最も不適切な組合せを1つ選び、その番号を答えなさい。

- A 集合住宅を適正に維持管理するには、劣化発生時に長期修繕計画を作成してその時期や費用などを検討しておく必要がある。
- B 国土交通省からマンションの長期修繕計画の作成、見直し、および修繕積立金の額の設定に関する基本的な考え方と長期修繕計画標準様式を示したガイドラインが公表されている。
- C ガイドラインによる推定修繕工事の内容は、将来を見越した仕様によるものである。
- D ガイドラインには、推定修繕工事費を踏まえて設定した修繕積立金の収支算定事例も示されている。

【解答肢】

番号	組合せ
1	AとB
2	CとD
3	AとC
4	BとD

【出典】

新☆建築コスト管理士ガイドブック

- 1 P229 23～24 行目
- 2 P229 26～29 行目
- 3 P229 36～37 行目
- 4 P229 33～34 行目

【解説】

3が最も不適切な組み合わせ

- A 事前に長期修繕計画を作成して時期や費用を検討しておく必要がある。
- C 推定修繕工事の内容は、現状の仕様によるものである。

2021年度建築コスト管理士試験問題

章目	第4章 コスト管理の知識理論・技術手法	項目	4.2 構工法とコスト	細目	(5) ハイブリッド工法	正答肢	2
<p>問題 10</p> <p>ハイブリッド構造に関する記述のうち、<u>最も不適切なものを1つ選び</u>、その番号を答えなさい。</p>						<p>【出典】</p> <p>新☆建築コスト管理士ガイドブック</p> <p>1 P252 : 3~4 行目</p> <p>2 P252 : 7~8 行目</p> <p>3 P251 : 42 行目</p> <p>4 P251 : 39~40 行目</p>	
<p>【解答肢】</p> <p>1 鉄骨鋼管柱にコンクリートを充填したCFT (Concrete Filled Steel Tube) 構造は、ハイブリッド構造のうち、合成構造の分類に入れることができる。</p> <p>2 混合構造は、異なった材料で構成された部材を組み合わせて、架構を形成する構造形式である。</p> <p>3 ハイブリッド構造は、大きく分類すると、合成構造、複合構造、混合構造がある。</p> <p>4 ハイブリッド構造は、構造的な合理性、施工面でのメリット及びコストメリットを追求した結果であり、様々なプロジェクトにおいて複雑な空間を実現するなどの成果をあげている。</p>						<p>【解説】</p> <p>2. が最も不適切</p> <p>混合構造の記述では無く、複合構造の記述。</p>	

2021年度建築コスト管理士試験問題

章 目	第3章 建築生産プロセスとコスト管理	項 目	3.6 建物維持管理段階の業務	細 目	3.6.2改修工事とコスト管理	正 答 肢	4
<p>問題 1 1</p> <p>改修工事とコスト管理に関する次の記述のうち、<u>最も不適切なものを</u> 1 つ選び、その番号を答えなさい</p>						<p style="text-align: center;">【出典】</p> <p style="text-align: center;">新☆建築コスト管理士ガイドブック</p> <p>1 P215 : 26～29 行目</p> <p>2 P213 : 11～13行目</p> <p>3 P218 : 32～33 行目</p> <p>4 P215 : 29～31行目</p>	
<p>【解答肢】</p> <p>1 改修工事の特徴として、建物の営業を一時的にストップせざるを得ないケースもよくあり、この機会に複数要因の改修工事を一度に合わせて実施するケースも多い。主要因以外が非常に複雑に絡み合い、コスト増となる要因も増える。</p> <p>2 改修工事を引き起こす要因としては、安全性能の欠如、環境・設備の陳腐化、ICT対応機能の付加・強化、建物延命化があげられる。</p> <p>3 改修工事における仮設工事費のウエイトは、新築工事と比較して大きくなる。</p> <p>4 改修（居ながら）工事では施工者都合による作業可能な時間の制約、情報管理の強化、養生方法の変更等が必要になるため、コスト増となる場合がある。</p>						<p style="text-align: center;">【解説】</p> <p style="text-align: center;">4. が最も不適切</p> <p><u>入居者都合</u>により各種の制約が発生する。</p>	

2021年度建築コスト管理士試験問題

章目	第4章 コスト管理の知識理論・技術手法	項目	4.9 市場コスト情報とコスト管理	細目		正答肢	2
----	------------------------	----	-------------------	----	--	-----	---

問題 1 2

建築費の指数に関する次の記述のうち、最も不適切な組合せを1つ選び、その番号を答えなさい。

- a 指数の特徴を理解することにより、過去の概算価格データを現在の価格水準に置き換えたり、地域間の価格差を確認することができる。
- b 指数は基準時や基準地を100として、時期や地域の変動を表現している。
- c 指数は工事原価を構成する各科目のウェイトを求め、それぞれの科目に対応させた価格指数をウェイトによって総合するラスパイレス算式で作成されている。
- d 指数は建設時期や建設地の特性に応じた設計や施工条件を前提に、工事費を構成する細目単価などの価格変動だけを考慮したものとなる。

【解答肢】

番号	組合せ
1	aとb
2	cとd
3	aとc
4	bとd

【出典】

新☆建築コスト管理士ガイドブック

- 1 P364 39～40 行目
- 2 P364 38～39 行目
- 3 P365 2～4 行目
- 4 P365 5～6 行目

【解説】

2が最も不適切

- c 工事原価を構成する各細目のウェイトを求め、それぞれの細目に対応させた価格指数のウェイトで総合する。
- d 指数は基準時や基準地と同一の設計や施工条件を前提とする。

2021年度建築コスト管理士試験問題

章目	第4章 コスト管理の知識理論・技術手法	項目	4.10コンストラクション・マネジメント (CM)	細目	(4) CM業務の概要	正答肢	2
<p>問題 1 3</p> <p>コンストラクション・マネジメント (CM) 業務に関する次の記述のうち、<u>最も不適切なもの</u>を1つ選び、その番号を答えなさい。</p>							
<p>【解答肢】</p> <p>1 事業構想・建築計画におけるCMrの役割は、発注者が意図する構想や計画について、発注者ととも目標・要求を整理し、発注条件を取りまとめることである。</p> <p>2 基本設計では、発注者から示される基本的な要求事項・与条件をもとに、より詳細に検討を進める段階であり、工事施工に進む前に、ここで決定すべき課題を先送りにせずプロジェクトの方向性を決めることが重要である。CMrは、発注者が設計内容を理解するための支援、方針を決定するための判断材料の提供などを行う。</p> <p>3 工事施工におけるCM業務は、工事発注方式、施工体制によって業務内容、業務量も変わってくる。しかし、どの方式であっても、工事施工では、発注者・設計者・監理者・各工事施工者、他にも多くの関係者が存在するので、関係者の役割分担、業務範囲、権限など明確にする必要があり、関係者間の調整、周知など密接な情報伝達のシステム構築を行うなど、工事全体をまとめていく支援を行う。</p> <p>4 完成・引渡し後の施設に関するアフターケアや維持管理・長期修繕などにも建設の専門性が求められる業務が数多く存在する。プロジェクトに関与したCMrが継続して発注者を支援・協力することによるメリットは多いと考えられる。不具合や契約不適合、運営維持管理についての支援などを行う。</p>						<p>【出典】</p> <p>新☆建築管理士ガイドブック</p> <p>1 P. 372 4～6行目</p> <p>2 P. 372 28～32行目</p> <p>3 P. 374 13～18行目</p> <p>4 P. 375 19～22行目</p>	
						<p>【解説】</p> <p>2. が最も不適切</p> <p>2 発注者から示される基本的な要求事項・与条件をもとに、より詳細に検討を進める行為であり、実施設計に進む前に、ここで決定すべき課題を先送りにせず、プロジェクトの方向性を決めることが重要である。</p>	

2021年度建築コスト管理士試験問題

章 目	第6章 建築積算業務の実際	項 目	6.14 設備の積算	細 目	6.14.1 数量の計測・計算	正答肢	2
<p>問題 14</p> <p>設備工事の積算時における数量の計測・計算に関する次の記述のうち、 最も不適切なものを1つ選び、その番号を答えなさい。</p>						<p>【出典】</p> <p>建築積算士ガイドブック</p> <p>1 P170 12行目</p> <p>2 P170 13行目</p> <p>3 P170 14行目</p> <p>4 P170 15行目</p>	
<p>【解答肢】</p> <p>1 端数処理は、四捨五入とする。</p> <p>2 長さは、小数点以下第2位とする。</p> <p>3 面積、体積および質量は、小数点以下第2位とする。</p> <p>4 内訳書の単価に対応する数量は、原則小数点以下第1位を四捨五入し、整数とする。</p>						<p>【解説】</p> <p>2. が最も不適切</p> <p>長さは、小数点以下第1位とする。</p>	

2021年度建築コスト管理士試験問題

章日	第3章 建築生産プロセスとコスト管理	項目	3.2 設計計画段階の業務	細日	3.2.1 建築企画とフィジビリティスタディ	正答肢	3
<p>問題 15</p> <p>建築プロジェクトのフィジビリティスタディ（事業採算性の検討）において次の記述のうち、<u>最も不適切なもの</u>を1つ選び、その番号を答えなさい。</p> <p>【解答肢】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 建築コストはフィジビリティ（事業化可能性）を左右する重要な要因であるので、これをいかに正確に想定するかが重要なポイントとなる。 2 剰余金発生年とは、借入金返済後の手取額としての単年度の剰余金が発生する年度で事業の収益性を判断する指標である。 3 事業の経済的成立性を検討するフィジビリティスタディを行う際に、建築プロジェクトの実現性と効率性を高めるために最も重要なのは、建築コスト算定精度が高まる実施設計段階である。 4 建築プロジェクトの発意は事業ありきと土地ありきに分かれるが、いずれもフィジビリティスタディの検討が重要になる。 						<p>【出典】</p> <p>新☆建築コスト管理士ガイドブック</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 P61：18～21 行目 2 P59：18～20 行目 3 P61：21～32 行目 4 P47：35～38 行目、 P49：24～36 	
						<p>【解説】</p> <p>3. が最も不適切</p> <p>実施設計段階では無く、基本構想や基本計画段階が正しい。</p>	

2021年度建築コスト管理士試験問題

章目	第1章 建築コスト管理の概要	項目	1.3建築コスト管理士の業務と活動領域	細目	(2)建築コスト技術者の業務と建築コスト管理士の課題	正答肢	3
----	-------------------	----	---------------------	----	----------------------------	-----	---

問題 16

建築コスト管理士の発注者側におけるコスト管理業務の課題に関する次の記述のうち、最も適切な組合せを1つ選び、その番号を答えなさい。

- a 各設計段階において、設計とコストの整合性チェックと設計内容の修正を確実に行之、次の段階に進むこと。
- b 特に実施設計段階において、設計内容についての様々な選択肢（複数案）をコストスタディし、最適な解を追求すること。
- c 概算積算において、刊行物の価格を的確に反映し、精度を高めること。また、設備工事とのレベル合わせを確実に行うこと。
- d LCC（ライフサイクルコスト）について、実用的に適用するよう、各プロジェクトにおいてテーマと方法論を設定すること。この場合、建築工事と設備工事のインシヤルコストとランニングコストまでを対象とすること。

【解答肢】

番号	組合せ
1	bが不適切
2	bとcが不適切
3	bとcとdが不適切
4	cとdが不適切

【出典】

新☆建築管理士ガイドブック

- a P. 13 28～29行目
- b P. 13 30～31行目
- c P. 13 32～33行目
- d P. 13 34～37行目

【解説】

3. の組合せが最も適切

b. c. dの記述が不適切

- b 特に設計の川上段階において、設計内容についての様々な選択肢（複数案）をコストスタディ
- c 概算積算において、**実勢の市場価格**を的確に反映し、精度を高めること。
- d LCC（ライフサイクルコスト）について、・・・

この場合、事業に関わる収支（賃料収入、税務支出など）まで視野に入れること。

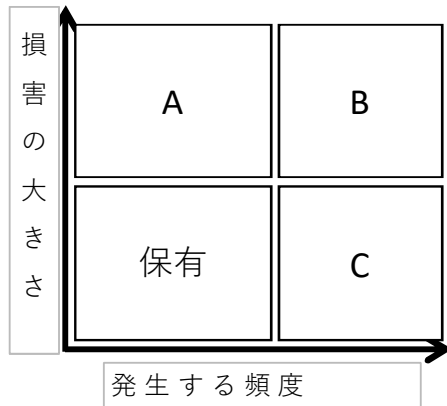
2021年度建築コスト管理士学科試験問題

章目	第4章 コスト管理の知識理論・技術手法	項目	4.5リスク管理とコスト	細目		正答肢	1
----	------------------------	----	--------------	----	--	-----	---

問題 17

リスク管理における4つのリスク領域への対策に関する次の組み合わせのうち、最も適切な組み合わせのものを1つ選び、その番号を答えなさい。

4つのリスク領域



【解答肢】

番号	A	B	C
1	転嫁・移転	回避	低減・予防
2	回避	転嫁・移転	低減・予防
3	回避	低減・予防	転嫁・移転
4	転嫁・移転	低減・予防	回避

【出典】

新☆建築管理士ガイドブック

P293 図4.5-3

【解説】

1. が最も適切

2021年度建築コスト管理士試験問題

<p>章 目</p>	<p>第3章 建築生産プロセスとコスト管理</p>	<p>項 目</p> <p>3.6 建物維持管理段階の業務</p>	<p>細目</p>	<p>3.6.3 設備改修工事とコスト管理 (3) 建物・設備劣化診断と改修・修繕時期の評価・検討</p>	<p>正答肢</p>	<p>4</p>
<p>問題 18</p> <p>設備改修工事における、建物・設備劣化診断と改修・修繕時期の評価・検討に関する次の記述のうち、<u>最も不適切なものを1つ選び、その番号を答えなさい。</u></p> <p>【解答肢】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 目視では調査できない配管などは詳細診断によって劣化状況を確認できる。代表例として、サンプリング(抜管)、X線診断、内視鏡診断があげられる。 2 更新・改修時期の判断に必要な劣化診断は、①事前調査・業務実施計画の作成、評価・分析、③プライオリティ付け、改修・修繕時期の優先度設定の手順で行う。 3 本調査は「目視診断」と「詳細診断」により行う。目視診断では、概ね10年以上の技術経験を持つ専門家によるチーム編成(建築技術者、電気技術者、機械技術者、構造技術者など各1名を1チーム)とし、目視での巡回調査をおこない劣化度判定を行う。 4 中長期計画の策定期間については、おおむね向こう30年～40年間程度の設定が多くの場合現実的である。 				<p>【出典】</p> <p>新☆建築コスト管理士ガイドブック</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 P224 20行目～21行目 2 P223 14行目～17行目 3 P224 10行目～13行目 4 P224 5行目～7行目 		
				<p>【解説】</p> <p>4. が最も不適切</p> <p>策定期間については、おおむね向こう15年～20年間程度の設定が多くの場合現実的である。</p>		

2021年度建築コスト管理士試験問題

章目	第3章 建築生産プロセスとコスト管理	項目	3.3 設備計画とコスト	細目	3.3.(9) 設備工事コストの概算方法	正答肢	2
<p>問題 19</p> <p>設備工事コストの概算方法に関する次の記述のうち、<u>最も不適切なもの</u>を1つ選び、その番号を答えなさい。</p>						<p>【出典】</p> <p>新☆建築コスト管理士ガイドブック</p> <p>1 P142 42行目～P143 2行目</p> <p>2 P143 5行目～7行目</p> <p>3 P149 2行目～4行目</p> <p>4 P143 16行目～28行目</p>	
<p>【解答肢】</p> <p>1 企画段階においては、過去の類似建物の実績をもとに算定する方法が多く採られ、通常、各設備工事で面積当たりの工事費単価を用いて算出する。</p> <p>2 企画段階の実績による概算算出は、短期間で比較的簡単に概算算出できる利点があり、建物の条件と設計内容の差異を補正すると、高い精度の概算コストが算出できる。</p> <p>3 実施設計段階においては、実施設計図書をもとに基本設計概算について、設計内容が変わっていないか、数量の違い、単価・金額が妥当かなどをチェックする。</p> <p>4 基本設計段階において実績事例をもとに部分的に仮りの設計図(ラフスケッチ程度)、代価などを作成して積上げる方法は、概算のポイントをうまく押さえれば、概算精度も期待できる。</p>						<p>【解説】</p> <p>2. が最も不適切</p> <p>設計内容の差異を補正したとしても、概算コストの<u>精度には限界がある</u>。</p>	

2021年度建築コスト管理士試験問題

章 目	第 3 章 建築生産プロセスとコスト管理	項 目	3.5 施工段階の業務	細 目	3.5.2 受注者(施工者)側におけるコスト管理	正答肢	3
<p>問題 20</p> <p>受注者側におけるコスト管理に関する次の記述のうち、最も不適切なものを1つ選び、その番号を答えなさい。</p>						<p>【出典】</p> <p>新☆建築管理士ガイドブック</p> <p>1 P194 40行目～41行目</p> <p>2 P194 42行目～P195 1行目</p> <p>3 P195 23行目～24行目</p> <p>4 P195 4行目～ 5行目</p>	
<p>【解答肢】</p> <p>1 工事完成基準とは、工事完成の引渡し日で一括して工事収益（工事高）を当期損益計算書に計上する方法である。</p> <p>2 工事進行基準とは、決算期末に工事進捗の程度を見積り、適正な工事収益率によって、工事収益の一部を当期損益計算書に計上する方法である。</p> <p>3 税法上で工事進行基準が強制される工事の範囲は、工事期間要件は2年、請負金額要件は10億円以上である。</p> <p>4 国際基準においては、工事進行基準のみが認められ、工事完成基準は認められていない。</p>						<p>【解説】</p> <p>3. が最も不適切</p> <p><u>工事期間要件は1年である。</u></p>	

2021年度建築コスト管理士試験問題

章 目	第4章 コスト管理の知識理論・技術手法	項 目	4.1 仮設と経費	細 目		正答肢	2
<p>問題 21</p> <p>仮設と経費に関する次の記述のうち、最も不適切なものを1つ選び、その番号を答えなさい。</p>						<p>【出典】</p> <p>新☆建築コスト管理士ガイドブック</p> <p>1 P236 8行目、10～14行目</p> <p>2 P236 8～10行目</p> <p>3 P236 16行目</p> <p>4 P236 19～20行目</p>	
<p>【解答肢】</p> <p>1 仮設は「共通仮設工事」と「直接仮設工事」に大別できる。</p> <p>2 直接仮設工事は当該建設プロジェクト全体に関わる複数の工事種目にまたがる仮設である。</p> <p>3 経費は、「現場管理費」と「一般管理費等」に大別できる。</p> <p>4 一般管理費等に含まれる項目として、建設会社の本社・支店経費、租税公課、および営業利益などがある。</p>						<p>【解説】</p> <p>2. が最も不適切</p> <p><u>共通仮設工事</u>は当該建設プロジェクト全体に関わる複数の工事種目にまたがる仮設である。</p>	

2021年度建築コスト管理士試験問題

章目	第8章 内訳書標準書式	項目	8.2 工種別内訳書標準書式 8.3 部分別内訳書標準書式	細目		正答肢	1
----	----------------	----	----------------------------------	----	--	-----	---

問題 22

建築工事内訳書に関する次の記述のうち、適切なものはいくつあるか1つ選び、その番号を答えなさい。

- a. 工種別内訳書は建物を構成する部位や部分に区分した書式であり、計画段階ではコストの把握や全体のバランス調整に適している。
- b. 部分別内訳書は主として建物を造るプロセスに合わせた書式となっている。
- c. 建築の直接仮設、共通仮設費、現場管理費、一般管理費などの内訳構成は工種別内訳書、部分別内訳書ともに同じである。
- d. 部分別内訳書は各種の専門工事会社の受発注時の数量と予算管理のもととなる重要な書式となっており、設計変更の増減においても同様に使われる。

【解答肢】

番号	数
1	1つが適切
2	2つが適切
3	3つが適切
4	4つが適切

【出典】

建築積算士ガイドブック

- a P217. 16行目、31～32行目
- b P216. 42行目
- c P217. 33～34行目
- d P216. 36～37行目、40行目

【解説】

1. が最も適切

- a. は部分別内訳書の特徴に関する記述
- b. とd. は工種別内訳書の特徴に関する記述

2021年度建築コスト管理士試験問題

章目	第3章 建築生産プロセスとコスト管理	項目	3.2 設計計画段階の業務	細目	3.2.7 LCC (ライフサイクルコスト)	正答肢	2
<p>問題 23</p> <p>建築に関わる税及び減価償却に関する次の記述のうち、<u>最も不適切なものを1つ選び、その番号を答えなさい。</u></p>						<p>【出典】</p> <p>新☆建築コスト管理士ガイドブック</p> <p>1 P127 41行～42行</p> <p>2 P127 38行～40行</p> <p>3 P128 1行～ 3行</p> <p>4 P128 4行～ 5行</p>	
<p>【解答肢】</p> <p>1 不動産取得税、相続税は、一時的に課税されるものである。</p> <p>2 固定資産税、不動産取得税は公共建築や、学校、宗教施設に対しても課税される。</p> <p>3 固定資産評価額は、建築の構造別用途別に定められた最終残価に達する年数の間は経年減価し、最終残価に達した後はこれが継続される。</p> <p>4 減価償却費は、財務省令が構造用途別に定める耐用年数の間にイニシャルコストを償却するものである。</p>						<p>【解説】</p> <p>2. が最も不適切</p> <p><u>公共建築や、学校、宗教施設に対しては非課税。</u></p>	

2021年度建築コスト管理士試験問題

章目	第3章 建築生産プロセスとコスト管理	項目	3.6 建物維持管理段階の業務	細目	3.6.1 建物維持管理段階の業務	正答肢	1
問題 24 建物維持管理段階での設備に関するBM（ビルメンテナンス）費について、次のコスト算定方法の組み合わせのうち、 <u>最も不適切なものを1つ選び</u> 、その番号を答えなさい。						<p>【出典】 新☆建築コスト管理士ガイドブック P206. 表3.6.1-7 BM対象項目のコスト算定方法</p>	
<p>【解答肢】</p> <p>1 エレベーター、エスカレーターの点検費 : 延床面積 (m²)×実績単価</p> <p>2 受変電設備点検、中央監視設備点検費用 : 個別見積り</p> <p>3 ビル環境測定、水質検査に要する費用 : ポイント数×単価</p> <p>4 設備要員費 : 要員数×要員単価</p>						<p>【解説】</p> <p>1. が最も不適切</p> <p>建物維持管理段階においては、エレベーターやエスカレーターの台数と仕様は確認が可能であり、<u>台数×単価で算定する</u>ことが望ましい。</p>	

2021年度建築コスト管理士試験問題

章 目	第6章 建築積算業務の実際	項 目	6.9 開口部	細 目		正答肢	2
問題 25 開口部に関する次の記述のうち、 <u>最も不適切なもの</u> を1つ選び、その番号を答えなさい。						<p style="text-align: center;">【出典】</p> 建築積算士ガイドブック 1 P143 39～42行目 2 P144 8～10行目 3 P144 34行目 4 P145 1行目	
<p>【解答肢】</p> 1 建具類の塗装面積は、積算基準では建具面積に塗装係数を乗ずることによって算出することができる。 2 全面がガラスである建具類のガラスの数量は、材種、規格ごとに建具類の内法寸法による面積とする。ただし、かまち、方立て、中鴨居、棧などの見付け幅が0.01mを超えるものがあるときは、その面積を差し引く。 3 枠回りモルタル充てんの数量は、建具の内法寸法の周長である。 4 シーリングは、材種、規格、寸法ごとに、建具の内法寸法の周長を計測する。						<p style="text-align: center;">【解説】</p> 2. が最も不適切 見付け幅が <u>0.1m</u> を超えるものがあるときは、その面積を差し引く。	

2021年度建築コスト管理士試験問題

章 目	第3章 建築生産プロセスとコスト管理	項 目	3.5 施工段階の業務	細 目	3.5.2 受注者(施工者)側におけるコスト管理	正答肢	3
<p>問題 26</p> <p>受注者側におけるコスト管理に関する次の記述のうち、<u>最も不適切なものを</u>1つ選び、その番号を答えなさい。</p>						<p>【出典】</p> <p>新☆建築コスト管理士ガイドブック</p> <p>1 P190 20行目～22行目</p> <p>2 P190 23行目～24行目</p> <p>3 P190 27行目～28行目</p> <p>4 P191 7行目～9行目</p>	
<p>【解答肢】</p> <p>1 最終利益目標の決定権者は事業部門トップあるいは工事部門トップである。</p> <p>2 実行予算は利益目標に基づき、現場所長が実行予算を作成する。母店の原価管理部門が作成するケースもある。</p> <p>3 建設業法における完成工事原価報告書の区分は、「材料費」・「労務費」・「外注費」の3要素である</p> <p>4 一般的に施工者は、自社の工事を恒常的に下請けする専門工事会社や資材納入会社を協力会として組織している。</p>						<p>【解説】</p> <p>3. が最も不適切</p> <p><u>「経費」を含んだ4要素である。</u></p>	

2021年度建築コスト管理士試験問題

章目	第4章 コスト管理の知識理論 ・技術手法	項目	4.6 環境計画とコスト管理	細目	4.6.3 環境対策項目（CO2削減項目） (1) 環境対策項目	正答肢	2
----	----------------------------	----	----------------	----	-------------------------------------	-----	---

問題 27

環境対策における工事区分、主な環境対策項目に関する次の記述のうち、最も適切な組合せを1つ選び、その番号を答えなさい。

記号	工事区分	主な環境対策項目	環境配慮効果
イ	電気設備関連・電源設備	燃料電池、長寿命バッテリーなど	長寿命化
ロ	昇降機設備	V V V F 昇降機	負荷の抑制
ハ	施工計画関連	高炉セメント、各種代替型枠	エコマテリアル
ニ	衛生設備関連・給湯設備	太陽熱給湯設備など	省エネルギー
ホ	空調設備関連・自動制御設備	B E M S の導入など	負荷の抑制
ヘ	建築関連・外装関連	複層・L o w E ガラスなど	省エネルギー

【解答肢】

番号	組合せ
1	イとロ
2	ハとニ
3	ホとヘ
4	イとハとホ

【出典】

新☆建築コスト管理士ガイドブック

- イ P309 13行目～14行目
- ロ P309 27行目
- ハ P309 28行目～29行目
- ニ P309 24行目
- ホ P309 22行目
- ヘ P309 10行目

【解説】

2. が最も適切

環境配慮効果が間違っている組合せがある。イとロとホは省エネルギー、へは負荷の抑制が正しい。

2021年度建築コスト管理士試験問題

章 目	第4章 コスト管理の知識理論・技術手法	項 目	4.8 建築コスト管理における 情報技術 (ICT) と BIM	細 目	(4) 建築積算BIM 連携の過去、 現在、未来 (4)-2 積算BIM連携の現在 (4)-3 積算BIM連携の未来	正答肢	4
-----	------------------------	-----	-------------------------------------	-----	---	-----	---

問題 28

積算のBIM連携に関する次の記述のうち、最も不適切なものを1つ選び、その番号を答えなさい。

【解答肢】

- 1 2次元CADと積算ソフトウェアの連携が、進化・発展することはなかった大きな理由は、図面上の線や図形が属性情報を持たないため、部位などを自動で判別できないことにあった。
- 2 BIMソフトウェアにおける属性情報の持ち方が統一されていなかったため、レイヤードタイプと呼ばれる層状のオブジェクトについては情報が上手く伝達されないことが明らかとなった。
- 3 BIMデータを積算利用するためには、建物を構成する部位、部品、材料といった階層的な分類を記述する仕様書のあり方が重要であり、設計、積算を通して共有のコードを使うことが不可欠となる。
- 4 BIM情報を異なるアプリケーションで共有するために不可欠となる国際フォーマットとして、IFCやST-Bridgeがある。

※ IFC = Industry Foundation Classes

【出典】

新☆建築コスト管理士ガイドブック

- | | | |
|---|------|---------------------|
| 1 | P354 | 31～34行目 |
| 2 | P355 | 15～18行目 |
| 3 | P356 | 39～42行目 P.357 1～3行目 |
| 4 | P354 | 35～38行目、※42の注釈 |

【解説】

4. が最も不適切

ST-Bridgeは、日本国内の建築構造分野における情報交換のための標準フォーマット。

2021年度建築コスト管理士試験問題

章目	第10章 チェックおよびデータ分析	項目	10.1 建築積算における チェック	細目	10.1.2 数量積算 10.1.3 単価	正答肢	1
<p>問題 29</p> <p>建築積算におけるチェックの考え方と確認内容について次の記述のうち、<u>最も不適切なものを1つ選び、その番号を答えなさい。</u></p>					<p>【出典】</p> <p>建築積算士ガイドブック</p> <p>1 P229. 26～30行目</p> <p>2 P230. 24～25行目</p> <p>3 P231. 3～4行目</p> <p>4 P228. 42行目 ～ P229. 1行目</p>		
<p>【解答肢】</p> <p>1 数量計測を進める過程で設計図書の不明な点については、積算担当者が適宜想定をして数量を算出する。</p> <p>2 内訳書の転記については必ず集計表の数値、仕様などが内訳書へ転記されているかどうかチェックする必要がある。</p> <p>3 専門工事会社から見積書を徴収する場合、見積の条件を整理した上で見積依頼を行うことが重要である。</p> <p>4 積算業務の中で数量積算の割合は一般的に60%～70%を占める。また、その数量に誤りがあると工事価格に大きく影響する。</p>					<p>【解説】</p> <p>1. が最も不適切</p> <p>設計図書の不明な点については、設計者へ適宜文書で質疑をおこない、文書で回答をもらいながら建築物の情報を読み間違いがないように心がける必要がある。</p>		

2021年度建築コスト管理士試験問題

章 目	第3章 建築生産プロセスとコスト管理	項 目	3.2 設計計画段階の業務	細 目	3.2.3 建築コストの変動要因	正答肢	2
問題 30 建築コストに関する変動要因について次の記述のうち、 <u>最も不適切なもの</u> を1つ選び、その番号を答えなさい。						【出典】 新☆建築コスト管理士ガイドブック 1 P80 8～10 行目 2 P79 35～37 行目 3 P80 5～7 行目 4 P81 31～33 行目	
【解答肢】 1 インバウンドの影響が大きな地域や、さほどでもない地域では、ホテル建設に代表される様に、その地域の建設需要を牽引するプロジェクトが有るのか無いのかで、地域の工事費にも差が出てくる。 2 建設場所において人口密集地域の繁華街や市街地では、近隣への騒音や振動対策、資材の仮置き場や現場事務所の確保など、郊外に比べて直接仮設費がアップする。 3 地域ごとに求められる仕様の差として、耐震性能や積雪荷重、断熱性能や設備性能などが上げられるが、これらの差異もコストに与える影響は大きなものになる。 4 地中障害物の撤去あるいは埋蔵文化財に関わる費用は発注者にとっては、プロジェクト費用の一部であるので、安易に「地中障害物の撤去は別途です」などでは済まされない。						【解説】 2. が最も不適切 直接仮設費ではなく、 <u>共通仮設費</u> が正解	

2021年度建築コスト管理士試験問題

章目 第4章 コスト管理の知識理論・技術手法	項目 4.3 工程計画とコスト	細目 4.3.(5) 所要期間計算の実際	正答肢 4
<p>問題 31</p> <p>所要期間計算の実際に関する次の記述のうち、<u>最も不適切なもの</u>を1つ選び、その番号を答えなさい。</p> <p>【解答肢】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 一般的に、親杭横矢板工法でアボロンセメントミルク工法とすれば、1日当り親杭を延110～130m程度施工する。 2 既製コンクリート杭セメントミルク工法で杭径500mm以内の場合、1日当り約140m程度施工する。これに組立解体日数を4日加算する。 3 切梁支保工架設は1段目で約160㎡(水平面積)、4段目になると約120㎡程度施工する。これにジャッキアップ作業を1日加算する。ただし、面積に関わらず、最少所要日数は3日とする。 4 乗入構台架設は1日当り延70㎡程度を施工する。ただし、最少所要日数は10日とする。 			<p>【出典】</p> <p>新☆建築コスト管理士ガイドブック</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 P271 7～8行目 2 P271 28～29行目 3 P271 40～41行目 4 P272 4～6行目 <p>【解説】</p> <p>4. が最も不適切</p> <p>面積に関わらず、最少所要日数は</p> <p><u>切梁が無い場合は6日、切梁がある場合は3日とする。</u></p>

2021年度建築コスト管理士試験問題

章 目	第 4 章 コスト管理の知識理論 ・ 技術手法	項 目	4.8 建築コスト管理における 情報技術 (ICT) と BIM	細 目	(3) BIM を用いたコスト管理	正答肢	2
-----	----------------------------	-----	-------------------------------------	-----	-------------------	-----	---

問題 3 2

BIMに関する次の記述のうち、最も不適切なものを1つ選び、その番号を答えなさい。

【解答肢】

- 1 標準化された、要求性能、製品の仕様、識別のための情報などの属性項目は、BIM ソフトウェアとそれに関連する様々なアプリケーション間でデータをやり取りする際の規格や約束ごととなる。
- 2 2010年に国土交通省住宅局建築指導課の主導で「建築BIM推進会議」が、土木分野を対象とした国土交通省の BIM/CIM推進委員会の下部ワーキンググループとして設置され、官民一体なったBIMの推進体制構築が期待されている。
- 3 「Uniclass2015」では、基本計画段階で設計要求条件を定義する4つの分類群「Complex (施設)」「Entities (建物)」「Space/Location (空間)」「Activities (活動)」のほか、建物の構成を表す分類群による階層的な構造となっている。
- 4 「OmniClass」は、アメリカの設計、エンジニアリング、施工の分野で使用されていた15種類の分類を、CSIが国際基準に合わせて集約し、分類コードの表記などを整理した分類体系である。

【出典】

新☆建築コスト管理士ガイドブック

- 1 P347 23～25行目
- 2 P343 10～13行目
- 3 P348 41行目～P349 6行目
- 4 P350 24～26行目

【解説】

2. が最も不適切

2 **2019年**に国土交通省住宅局建築指導課の主導で「建築BIM推進会議」が、設置された。

2021年度建築コスト管理士試験問題

章 目	第1章 建築コスト管理の概要	項 目	1.1建築コスト管理とは	細 目	1.1.1コスト管理とは何か 1.1.2建築コスト管理の機能	正答肢	2
<p>問題 3 3</p> <p>建築コスト管理に関する次の記述のうち、<u>最も不適切なもの</u>を1つ選び、その番号を答えなさい。</p>						<p>【出典】</p> <p>新☆建築管理士ガイドブック</p> <p>1 P.5 32～34行目 2 P.3 32～34行目 3 P.3 40～42行目 4 P.6 36～38行目</p>	
<p>【解答肢】</p> <p>1 コスト管理は、策定することが目的ではなく、計画に従って行動し、計画と実績との差異を分析し、次のフェーズにおける改善へと繋げ、目標に向かって成果を上げていくことが目的である。</p> <p>2 コスト管理（コストマネジメント）は、（a）計画的機能を主とするコストプランニングおよび（b）分析的機能であるコストコントロールという2つの機能で構成されている。</p> <p>3 コストプランニングの役割は、計画建築物に関する必要なコスト予測を行うと共に、設計計画の内容や仕様などの様々なコストを把握・分析し、発注者および設計者が計画上の意思決定を行うためのコスト計画からの支援を行うことである。</p> <p>4 建築工事におけるコスト（原価）とプライス（価格）については、建設にかかわる立場（発注者、設計者、施工者、専門工事会社、資材メーカーなど）によって、その捉え方および視点が異なる。</p>						<p>【解説】</p> <p>2. が最も不適切</p> <p>2 (b) <u>統制的機能</u>であるコストコントロールという2つの機能で構成されている。</p>	

2021年度建築コスト管理士試験問題

章目	第4章 コスト管理の知識理論・技術手法	項目	4.13建物の評価・鑑定	細目	(3)エンジニアリング・レポートと 不動産鑑定評価	正答肢	4
----	------------------------	----	--------------	----	------------------------------	-----	---

問題 34

不動産の評価・鑑定およびエンジニアリングレポートに関する次の記述のうち、不適切なものはいくつあるか1つ選び、その番号を答えなさい。

- a 不動産の取引においては、買い手側、売り手側、借り手側など、関係するそれぞれの立場から対象不動産を適正に評価する必要がある。そのために重要な調査がデュー・ディリジェンス (DD: Due Diligence) である。
- b デュー・ディリジェンスは、法的調査、機能的調査、物理的調査の3つの調査からなる。その一つである物理的調査報告を「エンジニアリング・レポート (ER: Engineering Report)」が担う。
- c エンジニアリング・レポートは、「建物状況調査」「建物環境リスク評価」「事業継続 (BCP) リスク評価」「地震リスク評価」からなる。
- d エンジニアリング・レポートは、建物・環境といった物理的調査結果をまとめた調査報告書を指す。基本的に、建物価値を評価するための基本的な調査であり、調査後の改修などの工事実施との整合にも留意する。

【解答肢】

番号	数
1	一つが不適切
2	二つが不適切
3	三つが不適切
4	四つが不適切

【出典】

新☆建築管理士ガイドブック

- a P. 407 35～37行目
- b P. 407 37～38行目
- c P. 407 38～41行目
- d P. 410 21～23行目

【解説】

4. が最も不適切

- a 借り手側ではなく融資側など、
- b 法的調査、経済的調査、物理的調査の3つの
- c 「事業継続 (BCP) リスク評価」ではなく
「土壌汚染リスク評価」
- d 必ずしも調査後の改修などの工事実施を前提と
した調査ではない。

2021年度建築コスト管理士試験問題

章目	第4章 コスト管理の知識理論・技術手法	項目	4.14コスト管理業務に関わる法的責任	細目	(2)コスト管理業務に関わる法的責任の性質	正答肢	3
----	------------------------	----	---------------------	----	-----------------------	-----	---

問題 35

コスト管理業務に関わる法的責任に関する次の記述のうち、最も適切な組合せを1つ選び、その番号を答えなさい。

- a 委任とは、当事者の一方が「法律行為」をすることを相手方に委託し、相手方がこれを承諾することによって成立し、効力を生ずる契約である。そして「法律行為でない事務の委託」をすることを「準委任」といい、これにも委任の規定が準用される。
- b コスト管理業務の主要な業務は積算業務であるが、積算業務の内容が具体的に決まっていれば請負契約になるだろうし、簡単な概算や積算業務それ自体ではなくアドバイスに関する業務などであれば、準委任契約になる可能性が高いといえる。
- c 改正民法では、仕事の目的物が契約の内容に適合しない場合の請負人の責任に関して、旧民法の規定（634条～640条）を大幅に削除して、請負契約に関する規定の準用によることにして、契約法全体の体系性を整備した。
- d 改正民法648条第1項と第2項は、改正前民法と同一であるが、同3項では、報酬が支払われる委任に、①事務処理の労務に対して報酬が支払われる場合（労務報酬型）と、②委任事務処理の結果として達成された成果に対して報酬が支払われる場合（成果報酬型）の2種がある。

【解答肢】

番号	組合せ
1	bとdが不適切
2	bとcとdが不適切
3	cとdが不適切
4	cが不適切

【出典】

新☆建築管理士ガイドブック

- a P.412 2～5行目
- b P.411 25～28行目
- c P.412 35～38行目
- d P.416 14～17行目

【解説】

3. が最も不適切

- c 売買契約に関する規定の準用によることにして、
- d ①事務処理の労務に対して報酬が支払われる場合（**履行割合型**）と、②委任事務処理の結果として達成された成果に対して報酬が支払われる場合（**成果完成型**）の2種

2021年度建築コスト管理士試験問題

章目	第7章 建築数量積算基準	項目	7.3 基準で決めていること	細目	7.3.2 区別・区分で決めていること	正答肢	2
<p>問題36</p> <p>建築数量積算基準の鉄骨の区分と計測・計算に関する次の記述のうち、<u>最も不適切なものを1つ選び、その番号を答えなさい。</u></p>						<p>【出典】</p> <p>建築積算士ガイドブック</p> <p>1 P210 30行目</p> <p>2 P210 34～37行目</p> <p>3 P345 第2節 2. (2)デッキプレート 2)</p> <p>4 P345 第2節 2. (1)柱 3)</p>	
<p>【解答肢】</p> <p>1 溶接は種類に区分し、溶接断面形状ごとに長さを求め、すみ肉溶接脚長6mmに換算した延べ長さを数量とする。</p> <p>2 鉄骨材料について、広幅平鋼及び鋼板（切板）の所要数量は設計数量に対して5%割増をすることを標準とする。</p> <p>3 デッキプレートの外周や床開口周り等のコンクリート流れ止めプレートは、長さ(m)で計測・計算する。</p> <p>4 各節柱の接合部の板厚の差等が1mmを超える隙間は、フィラープレートが入るものとして計測・計算する。</p>						<p>【解説】</p> <p>2. が最も不適切</p> <p>広幅平鋼及び鋼板（切板）の所要数量は設計数量に対して3%割増をすることを標準とする。</p>	

2021年度建築コスト管理士試験問題

章 目	第7章 建築数量積算基準	項 目	7.3 基準で決めていること	細 目	7.3.2 区別・区分で決めていること	正答肢	1
<p>問題 37</p> <p>建築数量積算基準の仕上の区別・区分と計測・計算に関する次の記述のうち、<u>最も不適切なものを1つ選び、その番号を答えなさい。</u></p>						<p>【出典】</p> <p>建築積算士ガイドブック</p> <p>1 P211 41～42行目</p> <p>2 P211 17行目</p> <p>3 P212 14行目</p> <p>4 P212 15～16行目</p>	
<p>【解答肢】</p> <p>1 仕上の組立、接合、躯体または準躯体への取付に必要な釘、金物については、か所数または本数を対象に計測をする。</p> <p>2 間仕切下地の窓・出入口の開口補強については、設計寸法によりか所数または長さを数量とする。</p> <p>3 主仕上において、凹凸のある仕上材は凹凸のない仕上げとして計測・計算をする。</p> <p>4 幅木、回縁、ボーダーなどの開口部による欠除が1か所当たり0.5m以下のときは、欠除はないものとする。</p>						<p>【解説】</p> <p>1. が最も不適切</p> <p>仕上の組立、接合、躯体または準躯体への取付に必要な釘、金物、モルタル、接着剤などは仕上の構成部材とし原則として計測の対象としない。</p>	

2021年度建築コスト管理士学科試験問題

章目	第4章 コスト管理の知識理論・技術手法	項目	4.5リスク管理とコスト	細目		正答肢	2
----	------------------------	----	--------------	----	--	-----	---

問題 38

リスク管理に関する次の記述のうち、不適切なものはいくつあるか1つ選び、その番号を答えなさい。

- a リスクマネジメントとは、予測しうる危機的な事態を回避、あるいはそのことによる被害を最低限にとどめるための活動をいう。
- b リスクの評価に於いては、起こりえる確率が高い場合でも起こった場合の被害が軽微であれば低い評価となる。
- c リスクマネジメントはクライシスマネジメントの一部である。
- d リスクマネジメントでは、一般的にリスクの発生頻度を下げる活動より、大きな損害となる可能性を小さくする活動が重要である。

【解答肢】

番号	数
1	不適切なのは1つ
2	不適切なのは2つ
3	不適切なのは3つ
4	全て不適切

【出典】

新☆建築管理士ガイドブック

- a 291ページ 34行目 より正しい
- b 291ページ 32行目 より正しい
- c 291ページ 36行目 より不適切
- d 293ページ 24行目 より不適切

【解説】

2. が正解

- c クライシスマネジメントはリスクマネジメントの一部として扱う考え方もある。
- d 2つの方針で対処

2021年度建築コスト管理士試験問題

章目	第1章 建築コスト管理の概要	項目	1.1建築コスト管理とは	細目	1.1.2建築コスト管理の機能	正答肢	3
----	-------------------	----	--------------	----	-----------------	-----	---

問題 39

建築コスト管理の各PDCAサイクルと管理項目（実施内容）について最も適切な組合せを1つ選び、その番号を答えなさい。

	PDCAサイクル	管理項目（実施内容）
a	計画（Plan）	目標達成の方法を決める
b	実施（Do）	コスト管理のツールを決める
c	評価（Check）	複数案の検討による最適解の決定
d	処置（Action）	問題点の改善・向上を図る

【出典】

新☆建築管理士ガイドブック

- a P.6 15～28行目
- b P.6 15～28行目
- c P.6 15～28行目
- d P.6 15～28行目

【解答肢】

番号	組合せ
1	aとcとdが適切
2	aとbとdが適切
3	aとdが適切
4	cとdが適切

【解説】

3. の組合せが最も適切

- b コスト管理のツールを決めるは、計画(Plan)の管理項目
- c 複数案の検討による最適解の決定は、処置(Action)の管理項目

2021年度建築コスト管理士試験問題

章目	第4章 コスト管理の知識理論・技術手法	項目	4.4 解体工事	細目	4.4.(1) 解体工法	正答肢	4
<p>問題 40</p> <p>解体工法に関する次の記述のうち、<u>最も不適切なもの</u>を1つ選び、その番号を答えなさい。</p>							
<p>【解答肢】</p> <p>1 アブレシブウォータージェット工法とは、超高压水の噴流に研磨材を吸引混合させて、ノズル先端よりコンクリートに噴射し切断する工法である。</p> <p>2 発破工法とは、振動・粉塵・飛来物の懸念があるが、経済的に能率の良い工法である。</p> <p>3 少量の火薬を使用する小規模爆破（ミニブラスティング）工法とは、コンクリート部材に亀裂を生じさせ切断することにより、その後の解体を容易にする方法である。</p> <p>R C 建築物や場所打コンクリート杭などの解体に活用す例がみられる。また、化学物質である非火薬系破砕剤を使用する工法もある。</p> <p>4 ブレードソーイング工法とは、ダイヤモンドを埋め込んだ円盤状の切刃（ブレード）を高速回転させて、鉄筋コンクリートを切断する工法である。</p>						<p>【出典】</p> <p>新☆建築管理士ガイドブック</p> <p>1 P277 30～33 行目</p> <p>2 P277 37～38 行目</p> <p>3 P277 41行目～P278 3行目</p> <p>4 P277 15～16行目</p>	
						<p>【解説】</p> <p>4. が最も不適切</p> <p><u>カッター工法</u>についての記述である。</p>	

2021年度建築コスト管理士試験問題

章目 第3章 建築生産プロセスとコスト管理	項目 3.2 設計計画段階の業務	細目 3.2.2 設計計画とコスト管理	正答肢 2
<p>問題 4 1</p> <p>建築プロジェクトにおけるコスト管理業務に関する次の記述のうち、<u>最も不適切なものを1つ選び、その番号を答えなさい。</u></p> <p>【解答肢】</p> <p>1 コストプランニングを行う者は、コスト予測を適切に行える能力を有する必要がある。</p> <p>2 パレートの法則によると、製品などのトータルコストの2割は、設計が8割進んだ時点で決まるといわれている。この考え方は、建築物の計画プロセスに関しても同様である。</p> <p>3 事業予算内で事業を実現させるためにも、設計の進捗過程で日標コストを超過していれば、予算内に納めるため、代替計画案を検討・提示し、原設計の改善向上を図り、概算コストを日標コストに収めるための調整を行うが、下廻る場合は、施設価値や品質の向上方策の検討・提案を行い、設計に反映させることも検討する。</p> <p>4 プロジェクトの予算を立てる際には、まず設計要因、そして発注者の要求事項とコストとを関連づけて、系統立ったコスト管理アプローチを行うことが求められる。</p>		<p>【出典】</p> <p>新☆建築コスト管理士ガイドブック</p> <p>1 P65 : 12~13 行目</p> <p>2 P71 : 25~27 行目</p> <p>3 P71 : 37~41 行目</p> <p>4 P71 : 19~22 行目</p>	
		<p>【解説】</p> <p>2. が最も不適切</p> <p>パレートの法則では、<u>トータルコストの8割は、設計が2割進んだ時点で決まってしまうといわ</u>れている。</p>	

2021年度建築コスト管理士試験問題

章 目	第3章 建築生産プロセスとコスト管理	項 目	3.2 設計計画段階の業務	3.2.4 概算手法とBIMの活用	正答肢	1
<p>問題 4 2</p> <p>企画／計画初期段階における概算手法に関する次の記述のうち、<u>最も不適切なもの</u>を1つ選び、その番号を答えなさい。</p>				<p>【出典】</p> <p>新☆建築コスト管理士ガイドブック</p> <p>1 P93 11～13 行目</p> <p>2 P93 19～29 行目</p> <p>3 P93 39～40 行目</p> <p>4 P94 18～20 行目</p>		
<p>【解答肢】</p> <p>1 床面積や代表されるユニットなどから概算コストを算出する手法は、いずれも短時間で工事費が算出でき、施主や設計者が考えているグレードや仕様に近い内容で、相場観をもった工事費の予測を行うことが容易である。</p> <p>2 実例調整では、与条件に対し近似の建物事例やコストの変動要因などの各種情報を利用しながら、実例を調整し計画建物のコストを算出する。</p> <p>3 積上げ概算法では、主要な部分に関してはできるだけ（数量×単価）で積上げた概算をおこなう。</p> <p>4 積上げ概算法では、階段室などの堅穴区画には防火戸、多目的便所には自閉式の引き戸など、想定可能な部分は適切な仕様で計上する。</p>				<p>【解説】</p> <p>1. が最も不適切</p> <p>相場観をもった工事費の予測を行うことは<u>難しい。</u></p>		

2021年度建築コスト管理士試験問題

章目	第7章 建築数量積算基準	項目	7.3 基準で決めていること	細目	7.3.2 区別・区分で決めていること	正答肢	3
<p>問題 43</p> <p>建築数量積算基準の躯体の区別・区分と計測・計算に関する次の記述のうち、<u>最も適切なものを1つ選び、その番号を答えなさい。</u></p>						<p>【出典】</p> <p>建築積算士ガイドブック</p> <p>1 P209 21～22行目</p> <p>2 P210 13～14行目</p> <p>3 P210 34～37行目</p> <p>4 P209 27～29行目</p>	
<p>【解答肢】</p> <p>1 鉄骨鉄筋コンクリート造などのコンクリートのなかに入る鉄骨に関する欠除はないものとする。</p> <p>2 鉄筋の割り付け本数が設計図書に記載されていない場合は、コンクリートの長さを鉄筋の間隔で除し、小数点以下第一位を切り上げた整数を本数とする。</p> <p>3 鉄骨工事におけるアンカーボルトの所要数量を求める時は、設計数量に対する割増は見込まない。</p> <p>4 各部材の取合いの部分の型枠は、基礎梁等と底盤、接続面の柱と梁幅が同一のもの、梁と床板、壁式構造の壁と床板の接続部について「さきの部分」は差し引く。これ以外は接合部の面積が0.5㎡以下の箇所の欠除はないものとする。</p>						<p>【解説】</p> <p>3. が最も適切</p> <p>1. は鉄骨の設計数量7.85tを1m³として欠除する。</p> <p>2. は鉄筋間隔で除し、小数点以下第一位を切り上げた整数に1を加えた本数とする。</p> <p>4. は1.0m²以下の欠除はないものとする。</p>	

2021年度建築コスト管理士試験問題

章目	第4章 コスト管理の知識理論・技術手法	項目	4.11ファシリティマネジメント (FM)	細目	4.11.3 FMの目的 4.11.5 FMの業務	正答肢	2
<p>問題 4 4</p> <p>ファシリティマネジメント (FM) に関する次の記述のうち、<u>最も不適切なものを1つ選び</u>、その番号を答えなさい。</p> <p>【解答肢】</p> <p>1 FMの機能・役割は、経営者のファシリティに対する責任を代行すること、FMの目標（品質・財務・供給）を管理すること、さらにビジネスに必要なファシリティとサービスの提供、利用者および顧客の満足度を向上させることである。</p> <p>2 FMには、「経営」、「顧客」、「運営」の3つのレベルがある。経営レベルのFMは、全ファシリティの統括した戦略・計画を行うレベルである。経営トップや経営戦略との連携と、全社的な影響力が大きいため、戦略的な視点が必要になる。</p> <p>3 FMの標準業務は大別して、「FM戦略・計画」、「プロジェクト管理／運営維持」、「評価」、「改善」と、これらの業務を遂行する核としてPDCAサイクルを回す「統括マネジメント」の5つから構成される。</p> <p>4 FMを効果的に進めるために、目標管理（MBO：Management By Objectives）の考え方を取り入れている。FMの目標管理とは、目標を設定して、施策を実施し、達成状況を管理することである。また、PDCAのFMサイクルを回して、継続的に改善することでもある。</p>						<p>【出典】</p> <p>新☆建築管理士ガイドブック</p> <p>1 P. 379 21～23行目</p> <p>2 P. 379 40～43行目</p> <p>3 P. 382 9～11行目</p> <p>4 P. 386 8～11行目</p>	
						<p>【解説】</p> <p>2. が最も不適切</p> <p>2 FMには、「<u>経営</u>」、「<u>管理</u>」、「<u>日常業務</u>」の3つのレベルがある。</p>	

2021年度建築コスト管理士試験問題

章目	第4章 コスト管理の知識理論・技術手法	項目	4.2 構工法とコスト	細目	(3) CFT構造	正答肢	2
<p>問題 45</p> <p>CFT構造とコストに関する次の記述のうち、<u>最も不適切なものを1つ</u>選び、その番号を答えなさい。</p>					<p>【出典】 新☆建築コスト管理士ガイドブック</p> <p>1 P 250 : 10~12 行目 2 P 250 : 17~18 行目 3 P 249 : 36~38 行目 4 P 249 : 39~41 行目</p>		
<p>【解答肢】</p> <p>1 RC造と比較して、躯体施工時に、残材・梱包材等の発生が少なく清掃片付費、発生材処分費等は減少する。</p> <p>2 設備工事においては、RC造と比較した場合、躯体施工時の取合い労務費の増加等若干のコストアップとなる。</p> <p>3 従来のS造と比較すると、柱内にコンクリートを充填することにより、鋼管柱の断面（肉厚）を低減できるため、鉄骨量は低減するが、建物重量は増加する。</p> <p>4 充填コンクリートの材料単価は高く、また打設（バケットによる落とし込み、あるいはポンプによる下部圧入充填）の単価も高い。</p>					<p>【解説】</p> <p>2. が最も不適切</p> <p>躯体施工時の<u>労務費の減少</u>など若干のコスト <u>ダウン</u>が図れる。</p>		

2021年度建築コスト管理士試験問題

章目	第6章 建築積算業務の実際	項目	6.3 地業	細目	6.3.2 各項目の計測 6.3.3 杭地業の計測・計算手法	正答肢	4
問題 46 建築数量積算基準の地業に関する計測・計算に関する次の記述のうち、 最も適切なものを1つ選び、その番号を答えなさい。						<p style="text-align: center;">【出典】</p> <p style="text-align: center;">建築積算士ガイドブック</p> <p>1 P60 30～31行目</p> <p>2 P59 29行目</p> <p>3 P59 32行目</p> <p>4 P59 42行目</p>	
<p>【解答肢】</p> <p>1 場所打ちコンクリート杭の杭頭処理の数量は寸法ごとの本数とする。</p> <p>2 場所打ちコンクリート杭の掘削土量およびコンクリートの体積は、設計数量を用いる。</p> <p>3 場所打ちコンクリート杭に用いる鉄筋の所要数量を求める場合は設計数量に対し、4%増を標準とする。</p> <p>4 砂利地業、捨コンクリートなどの数量は、基礎外側からの出幅について寸法記入がない場合は、各辺の両端に0.1mの出幅を加えて計算した面積と図示の厚さによる体積とする。</p>						<p style="text-align: center;">【解説】</p> <p style="text-align: center;">4. が最も適切</p> <p>1. は既成杭の杭頭処理の数量の計測・計算方法。 場所打ちコンクリート杭の場合はその体積及び鉄筋等の質量とする。</p> <p>2. は設計数量に割増率を乗じる。</p> <p>3. は設計数量に3%の割増を標準とする。</p>	

2021年度建築コスト管理士試験問題

章目	第4章 コスト管理の知識理論・技術手法	項目	4.6 環境計画とコスト管理	細目	4.6.6 環境関連の各種事業や評価手法 (1) ESP事業 (2) ESCO事業 (3) ライフサイクルアセスメント (4) その他の評価手法	正答肢	3
----	------------------------	----	----------------	----	---	-----	----------

問題 4 7

環境関連の各種事業や評価手法に関する次の記述のうち、最も不適切なものを1つ選び、その番号を答えなさい。

【解答肢】

- 1 ライフサイクルマネジメント (LCM) とは、建築物のライフサイクルにわたって、総合的に建築物の効用の増大並びに生涯費用の削減の面から検討考慮し、最適の代替案を選択していく営みであり、その具体的な考え方と手法のことである。
- 2 ライフサイクルアセスメント (LCA) とは、製品の原材料から製造、使用及び処分に至る生涯を通じての環境側面及び潜在的環境影響を評価するものである。
- 3 ESP 事業 (エネルギーサービスプロバイダー) とは、ビルや事業所などの省エネルギー対策を請け負うサービス事業のことで、削減される経費から投資を回収し報酬を得る事業である。
- 4 ライフサイクルCO₂ (LCCO₂) とは、生涯の二酸化炭素など発生量のこと、建築物の生涯にわたる地球環境温暖化に影響するガスを二酸化炭素で換算した発生量の削減化を図る手法のことである。

【出典】

新☆建築コスト管理士ガイドブック

- 1 P316 22行目～25行目
- 2 P315 39行目～42行目
- 3 P315 28行目～38行目
- 4 P316 30行目～33行目

【解説】

3. が最も不適切

説明はESCO事業 (エネルギーサービスカンパニー/効果保証付省エネルギーサービス)を対象とする文章である。

2021年度建築コスト管理士試験問題

章目	第4章 コスト管理の知識理論・技術手法	項目	4.2 構工法とコスト	細目	(6) 免震構造	正答肢	2
<p>問題 48</p> <p>免震構造に関する次の記述のうち、<u>最も不適切なものを1つ選び、その番号を答えなさい。</u></p>					<p>【出典】</p> <p>新☆建築コスト管理士ガイドブック</p> <p>1 P 254 : 39行目 P 255 : 12、21、31行目</p> <p>2 P 253 : 38～40 行目</p> <p>3 P 254 : 3～4 行目</p> <p>4 P 255 : 31～33 行目</p>		
<p>【解答肢】</p> <p>1 免震部材としてのダンパには、鉛ダンパ・ループ状棒ダンパ・U字鋼製ダンパ・オイルダンパ等がある。</p> <p>2 ダンパ機構とは、地震時に建物を水平方向に柔らかく支え、ゆっくりと動かせる機能を持ったものである。</p> <p>3 天然ゴム系アイソレータとは、数ミリ厚のゴムと銅板を交互に積層させ、加硫圧着させたものである。</p> <p>4 ループ状棒ダンパは、ループ状に成形された鋼棒の塑性変形により減衰効果を発揮する機構である。</p>					<p>【解説】</p> <p>2. が最も不適切</p> <p>ダンパ機構とは、<u>建物が大きく変形しないよう制御し、また地震による振動が早く収束するよう運動エネルギーを吸収する機能。</u></p> <p><u>2の記述はアイソレータ機構</u></p>		

2021年度建築コスト管理士学科試験問題

章目	第3章 建築生産プロセスとコスト管理	項目	3.4 発注方式	細目	3.4.3 積算数量の公開	正答肢	2
<p>問題 49</p> <p>入札時積算数量書活用方式に関する次の記述のうち、<u>最も不適切なもの</u>を1つ選びその番号を答えなさい。</p> <p>【解答肢】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 入札時積算数量書活用方式導入の背景には、官民合同による建築数量積算基準が完成し、これにより数量は誰が計測・計算しても、一定の範囲に収束する計測となったことがある。 2 入札参加者は発注者の提示した積算数量書を活用したか否かにかかわらず、発注者が示した積算数量と違いが生じた場合、積算数量に関する協議を行うことが可能となる。 3 対象となる積算数量は、設計図書から「公共建築数量積算基準」および「公共建築設備数量積算基準」に基づき、計測・計算した数量である。 4 積算数量書は、入札説明書などの添付資料として交付・公開される。 					<p>【出典】</p> <p>新☆建築管理士ガイドブック</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 P173 26行目 2 P174 2行目 3 P174 22行目 4 P174 6行目 		
					<p>【解説】</p> <p>2. が最も不適切</p> <p>入札時に発注者が示した<u>積算数量を活用した場合のみ</u>対象となる</p>		

2021年度建築コスト管理士試験問題

章 目	第1章 建築コスト管理の概要	項 目	1.3建築コスト管理士の業務と活動領域 1.4建築コスト管理士の社会的責任と役割	細 目	(3)建築コスト管理士の活動領域	正 答 肢	4
<p>問題 50</p> <p>建築コスト管理士に関する次の記述のうち、<u>最も不適切なもの</u>を1つ選び、その番号を答えなさい。</p> <p>【解答肢】</p> <p>1 建築コスト管理士の業務基盤は、コスト算定およびコストプランニング、コストコントロールを自ら行えるところにある。これに各自の技術的特性（得意なもの）を付加することにより、その活動領域は大きく広がる。</p> <p>2 建築コスト管理士の資格を取得したことにより、単純に活躍の場が広がるわけではない。継続的な自己研鑽により、スキルを高め、また常に革新的な意識を持つことにより、新しい領域を切り拓く力とチャンスが生まれる。</p> <p>3 建築コスト管理士は、建築を社会的な存在として位置づけ、建築コスト管理という専門業務を遂行するにあたり、営利行為に走るのではなく、社会的に公正そして中立的な立場に立ち、結果として社会から信頼される職能に対応する資格である。</p> <p>4 今日では、設計段階から竣工後の改修工事までの幅広いライフサイクルにおいてコスト管理業務が求められている。したがって、建築コスト管理士の業務領域は広く、より長期的そして多面的に建築コストを理解し、社会に対して貢献するという姿勢が必要である。</p>						<p>【出典】</p> <p>新☆建築管理士ガイドブック</p> <p>1 P. 15 18～20行目</p> <p>2 P. 15 37～39行目</p> <p>3 P. 16 12～16行目</p> <p>4 P. 16 33～37行目</p>	
						<p>【解説】</p> <p>4. が最も不適切</p> <p>4 今日では、<u>発注者の事業計画段階から竣工後の</u>維持保全段階、改修、解体・廃棄処分に至るまでの幅広い段階でのコスト管理業務が求められている。</p>	

2021年度建築コスト管理士学科試験問題

章目	第3章 建築生産プロセスとコスト管理	項目	3.4 発注方式	細目	3.4.5 建設に関わる契約	正答肢	3
<p>問題 5 1</p> <p>公共建築工事標準仕様書に記載されている設計図書の優先順位について次の記述のうち、<u>最も適切なものを1つ選び</u>、その番号を答えなさい。</p>					<p>【出典】</p> <p>新☆建築管理士ガイドブック</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-left: 20px;"> <div style="display: flex; flex-direction: column; justify-content: space-around; width: 30px;"> 1 2 3 4 </div> <div style="font-size: 2em; margin: 0 10px;">}</div> <div style="vertical-align: middle;">P184の表</div> </div>		
<p>【解答肢】</p> <p>1 特記仕様書、現場説明書、質問回答書、図面、標準仕様書</p> <p>2 特記仕様書、現場説明書、図面、質問回答書、標準仕様書</p> <p>3 質問回答書、現場説明書、特記仕様書、図面、標準仕様書</p> <p>4 質問回答書、特記仕様書、現場説明書、図面、標準仕様書</p>					<p>【解説】</p> <p>3. が最も不適切</p>		

2021年度建築コスト管理士試験問題

章目	第3章 建築生産プロセスとコスト管理	項目	3.3 設備計画とコスト	細目	3.3.(11) 改修工事と設備コスト	正答肢	4
<p>問題 52</p> <p>改修工事の設備コストに関する次の記述のうち、<u>最も不適切なもの</u>を1つ選び、その番号を答えなさい。</p>						<p>【出典】</p> <p>新☆建築コスト管理士ガイドブック</p> <p>1 P150 9行目～10行目</p> <p>2 P150 11行目～13行目</p> <p>3 P150 6行目～8行目</p> <p>4 P150 2行目～4行目</p>	
<p>【解答肢】</p> <p>1 既存建物の改修工事にはテナント入居時改修、耐震改修、省エネ改修、用途変更に伴う改修などあり、そのなかに耐用年数を迎えた設備機器更新を含めることもある。</p> <p>2 改修工事では、新築工事に比べ工事動線、作業時間、作業制限などの制約があるため作業効率が低下し、労務工数が多くなる。</p> <p>3 ライフサイクルコストを少なくするためには、最小限の期間とコストで改修工事を行える適切な計画が必要である。</p> <p>4 改修工事は劣化した機能の回復のための工事である。</p>						<p>【解説】</p> <p>4. が最も不適切</p> <p>劣化した機能の回復のための改修工事だけでなく、新たな機能を追加した<u>価値向上型の改修工事</u>もある。</p>	

2021年度建築コスト管理士試験問題

章目	第1章 建築コスト管理の概要	項目	1.2建築コスト管理の目的	細目	(2)コスト管理の目的	正答肢	1
----	-------------------	----	---------------	----	-------------	-----	---

問題 53

建築コスト管理の目的に関する次の記述のうち、不適切なものはいくつあるか1つ選び、その番号を答えなさい。

- a 事業意思決定目的は、企画全体の経済性、事業性をコスト面から評価・判断し、事業上の的確な意思決定に繋げる。
- b 建設予算管理目的は、設計における判断や決定などについて、コスト関連事項のアドバイスをし、経済的かつ有効性の高い設計を進める支援をする。具体的には、バランスの取れた実現性の高い予算配分、精度の高い概算コストの算定、複数の設計案検討による最適解の決定、予算に対応した代替設計案の検討などである。
- c 価格決定目的は、積算により工事費を算定し、見積（入札）価格あるいは契約価格決定の根拠とする。
- d 発注者側の原価管理目的は、事業活動におけるコストである予算全体を管理し、設計変更や追加工事あるいはVE提案による工事費増減の審査などをリアルタイムに行い、目標予算内で事業を達成するよう統制業務を行う。

【出典】

新☆建築管理士ガイドブック

- a P. 9 31～13行目
- b P. 9 35～39行目
- c P. 9 41～42行目 P. 10 1行目
- d P. 10 3～7行目

【解説】

1. の不適切ゼロ（全て適切）が正答

【解答肢】

番号	数
1	ゼロ（全て適切）
2	一つが不適切
3	二つが不適切
4	三つが不適切

2021年度建築コスト管理士試験問題

章目	第6章 建築積算業務の実際	項目	6.4 躯体 (コンクリート・型枠・鉄筋)	細目	6.4.1 躯体とは	正答肢	2		
<p>問題 54</p> <p>躯体積算に関する次の記述のうち、<u>最も不適切なものを1つ</u>選び、その番号を答えなさい。</p> <p>【解答肢】</p> <p>1 1か所当り0.5㎡以下の開口部等による鉄筋の欠除は、ないものとみなす。ただし、開口部補強筋に関してはすべて計上する。</p> <p>2 1か所当り1.0㎡以下の開口部等による型枠の欠除は、ないものとみなす。</p> <p>3 階段の踏面および階の中間にある壁付梁の上面と勾配が3/10を超える斜面部分には上面型枠を計上する。</p> <p>4 1か所当り0.5㎡以下のダクトや開口部等によるコンクリートの欠除は、ないものとみなして差し引かない。</p>					<p>【出典】</p> <p>建築積算士ガイドブック</p> <p>1 P63 36～37行目</p> <p>2 P63 15行目</p> <p>3 P63 16～17行目</p> <p>4 P63 7～8行目</p>			<p>【解説】</p> <p>2. が最も不適切</p> <p>2 1か所当り1.0㎡以下ではなく、<u>0.5㎡以下</u> が正解。</p>	

2021年度建築コスト管理士試験問題

章目	第3章 建築生産プロセスとコスト管理	項目	3.2 設計計画段階の業務	細目	3.2.6 VE（バリューエンジニアリング）	正答肢	2
----	-----------------------	----	---------------	----	------------------------	-----	---

問題 55

(公社)VE協会の説明に関する次の文章中、最も適切なものを1つ選び、その番号を答えなさい。

VE（バリューエンジニアリング）とは、製品やサービスの A を、それが果たすべき B とそのためにかける C との関係で把握し、システム化された手順によって D の向上をはかる手法である。

【出典】

新☆建築コスト管理士ガイドブック

P113 29～31行

【解答肢】

番号	A	B	C	D
1	機能	役割	費用	価値
2	価値	機能	コスト	価値
3	機能	価値	コスト	機能
4	価値	役割	費用	機能

【解説】

2. が最も適切

2021年度建築コスト管理士試験問題

章目	第2章 建築産業とコスト管理	項目	2.3 国際プロジェクトにおけるコスト管理	細目		正答肢	4
<p>問題 5 6</p> <p>海外プロジェクトにおけるQSの役割に関する次の記述のうち、<u>最も不適切なものを</u>1つ選び、その番号を答えなさい。</p> <p>【解答肢】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 設計・計画段階でフィジビリティスタディ、コストプランニング、概算費用算出、設計VEの実施、LCCの検討などを行う。 2 発注・調達段階では発注・契約方式の検討や工事費内訳書の作成、入札前の契約条件書や発注調達書類などの作成を行う。 3 コストマネジメントの専門家であり、英連邦系諸国を中心として世界の様々な国でコスト管理業務の提供を行っている。 4 もっぱら発注者側のコンサルタントとして業務提供を行っている。 <p style="text-align: center;">※QS(Quantity Surveyor : クオンティティ・サベイヤー)</p>						<p>【出典】</p> <p>新☆建築管理士ガイドブック</p> <p>1 P28 27～29 行目</p> <p>2 P28 30～32 行目</p> <p>3 P28 11～13 行目</p> <p>4 P28 42 行目～P29 2 行目</p>	
						<p>【解説】</p> <p>4. が最も不適切</p> <p>QSはコントラクターQSとして、施工者側のコスト<u>管理業務も行う</u>。</p>	

2021年度建築コスト管理士試験問題

章日	第3章 建築生産プロセスとコスト管理	項目	3.2 設計計画段階の業務	細目	3.2.2 設計計画とコスト管理	正答肢	3
<p>問題 57</p> <p>コストプランニングに関する次の記述のうち、<u>最も不適切なものを1つ</u>選び、その番号を答えなさい。</p> <p>【解答肢】</p> <ol style="list-style-type: none"> 基本計画段階において、コストプランニングとコストコントロールそれぞれの活動は不可分となり、実務上は明確な区別の必要がなくなる。 コストプランニングとは、コストの予測、コスト配分、品質・コスト面からの設計計画への反映を行うことである。 コストプランニングでは、コストの持っている特性を活かし、設計上の判断に役立つ形で計画内容に創りこんでいくが、費用対効果は考慮しなくてもよい。 企画・構想段階のコストプランニングでは、目標予算枠の設定、事業企画計画への助言等、コスト配分計画の設定を行う。 					<p>【出典】</p> <p>新☆建築コスト管理士ガイドブック</p> <ol style="list-style-type: none"> P69 : 21～22 行目 P64 : 図3.2.2-1 8～12行目 P65 : 26～30行目 P64 : 図3.2.2-1 8～12行目 		
					<p>【解説】</p> <p>3. が最も不適切</p> <p><u>費用対効果を高めることが</u>重要である。</p>		

2021年度建築コスト管理士試験問題

<p>章目</p>	<p>第3章 建築生産プロセスとコスト管理</p>	<p>項目</p>	<p>3.1 建築コスト管理の業務体系</p>	<p>細目</p>	<p>3.1.1 プロジェクトの各段階におけるコスト管理業務の役割</p>	<p>正答肢</p>	<p>4</p>
<p>問題 58</p> <p>プロジェクトの各段階とコスト管理業務の内容に関する次の記述のうち、<u>最も不適切なもの</u>を1つ選び、その番号を答えなさい。</p> <p>【解答肢】</p> <ol style="list-style-type: none"> 発注段階のコスト管理業務には、工事内容に適した施工者の選定、適切な契約条件の策定、適切な工事請負代金の決定、その他工事請負契約に関する技術的事項への支援や助言などがある。 基本計画段階において、設計者は企画書に沿って必要な図面を作成し、複数の計画案のコスト比較・検討を行い、プラン、構造設備システムなどの建物概要を決定する。 実施設計段階では、企画から基本設計にいたる各段階においてコスト管理が着実に遂行された場合には、最終コストの確認チェックとその結果の発注者との共有が主な業務となる。 施工者側の施工段階のコスト管理業務には、工事総額の管理、設計変更・追加工事金額の算定および管理などがあるが、原価管理は工事完了後に行う重要な業務である。 						<p>【出典】</p> <p>新☆建築コスト管理士ガイドブック</p> <ol style="list-style-type: none"> P42：1～4 行目 P68：41行目～P69：1行目 P71：3～5 行目 P44：1～12 行目 	
						<p>【解説】</p> <p>4. が最も不適切</p> <p>施工者側が行う原価管理は、工事完了後に行うは間違い。</p> <p>原価管理とは<u>工事中実施する</u>事に意義がある。</p>	

2021年度建築コスト管理士試験問題

章 目	第3章 建築生産プロセスとコスト管理	項 目	3.2 設計計画段階の業務	細 目	3.2.3 建築コストの変動要因	正答肢	3
<p>問題 59</p> <p>建築コストに関する変動要因について次の記述のうち、<u>最も不適切なもの</u>を1つ選び、その番号を答えなさい。</p>						<p>【出典】</p> <p>新☆建築コスト管理士ガイドブック</p> <p>1 P77 16～18 行目</p> <p>2 P77 26～28 行目</p> <p>3 P77 40～42 行目</p> <p>4 P78 13～15 行目</p>	
<p>【解答肢】</p> <p>1 一般に、用途と構造種別の関係については、集合住宅系の建物ではRC造が多く見られ、事務所ビルなどの業務系ではS造（高層ではCFT構造）が多くみられる。</p> <p>2 近年、高力ボルトと併せて鋼管などの鉄骨材入平期間の長期化などもあり、工期に悪影響のでないように、プロジェクトの極力早い段階から発注できる体制を確立する必要がある。</p> <p>3 建築用途や設計者・発注者の要望で、大スパンや大空間の設計計画が求められる場合があるが、スパン割りは、構造コストには直結しない。</p> <p>4 地下部分の建設コストには、土工事、山留め工事などがあり、一般に地上部分に比べ割高になるため、可能な限り地下部分の容積の最小化を図ることが経済性の観点から望ましい。</p>						<p>【解説】</p> <p>3. が最も不適切</p> <p>スパン割りは構造コストに直結するが正しい。</p>	

2021年度建築コスト管理士試験問題

章目	第3章 建築生産プロセスとコスト管理	項目	3.2 設計計画段階の業務	細目	3.2.6 VE (バリューエンジニアリング)	正答肢	4
<p>問題 60</p> <p>設計時のVE手法に関する次の記述のうち、<u>最も不適切なもの</u>を1つ選び、その番号を答えなさい。</p>						<p>【出典】</p> <p>新☆建築コスト管理士ガイドブック</p> <p>1 P119 24行～26行</p> <p>2 P119 30行～31行</p> <p>3 P118 33行～34行</p> <p>4 P120 33行～35行</p>	
<p>【解答肢】</p> <p>1 設計しているプロジェクトを目標予算内に収める設計計画の技術として、予算に見合う建物計画を進めるという経済設計の観点から代替案を設計にフィードバックができ、コストコントロールの確実性を高められる。</p> <p>2 VE実施後の設計計画上の指針ができ、後々の設計変更が未然に防げ、設計の合理化に役立つ。</p> <p>3 設計VEは、設計者とは異なる第三者の客観的な視点で設計レビューを行う。</p> <p>4 設計VEは建物の詳細が決定した段階が最も効果が高いとされている。</p>						<p>【解説】</p> <p>4. が最も不適切</p> <p>VEを適用して最も大きな成果を得られる段階は、基本計画および基本設計段階と考えられている。したがって、設計の川上段階を中心に<u>設計VEが展開されることが望ましい。</u></p>	